

仕事もアーチェリーも！世界に挑む HORIBA アスリート社員の紹介

社是「おもしろおかしく」のもと、アスリート社員の林勇氣選手と安久詩乃選手は、HORIBA で働きながらアーチェリー競技で活躍されています。



令和5年度公益財団法人京都府スポーツ協会表彰を受賞した際の安久選手と林選手

子どもも大人もアーチェリーの楽しさを体験！

アーチェリー教室が京都アクアリーナ アーチェリー場で開催されました。林選手は堀場製作所の地元・京都の方に、アーチェリー競技の魅力を知ってもらいたいと、アーチェリー競技普及のために毎年講師をされています。



デモンストレーションで林選手が五輪と同じ 70メートル先から射た矢は見事に的の中央に命中！子どもたちや保護者からは驚きの声と歓声があがりました。

※2023年における林選手と安久選手の主な成績は下記のとおりです。

◎林勇氣選手（2007年入社 堀場製作所法務部所属）



第52回全日本フィールドアーチェリー選手権大会 リカブ女子優勝

第71回全日本実業団アーチェリー大会 団体戦2位

第44回全日本社会人フィールドアーチェリー選手権大会 リカブ女子優勝

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」京都府チーム アーチェリー成年女子・団体3位

◎安久詩乃選手（2021年入社 堀場製作所総務部所属）



第32回全日本室内アーチェリー選手権大会 リカブ女子2位

第71回全日本実業団アーチェリー大会 団体戦リカブ女子2位

第71回全日本実業団アーチェリー大会 リカブ女子2位

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」京都府チーム アーチェリー成年女子・団体3位

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」京都府チーム アーチェリー成年女子・個人3位

第65回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会 リカブ女子2位

2024年ナショナルチームに選抜

《余談》

1988年に開催された京都国体の数年前。京都の各企業はいずれかの競技を支援することとなり、堀場製作所はアーチェリー競技を選択されました。受け皿となるクラブがなく、和弓（弓道）の南井先生を部長に、和洋を一緒にした「堀場弓の会」が発足しました。設立当初は、部員を増やして母体を強化するため、東京出張のついでに渋谷の専門店に立ち寄り、練習用のアーチェリーの弓を買い込み、ホリバリアン向け体験講習を実施したりもしていました。2024年も更なる飛躍に向けてチャレンジを続けていく両選手を、堀場製作所OB会メンバーも応援しましょう！